

事業所名

放課後等デイサービス わくわく

支援プログラム (参考様式)

作成日

2026 年

3 月

27 日

法人 (事業所) 理念	『たくさんの笑顔に出逢いたい』という理念の下、「人と人との笑顔を結ぶ」「ニーズを形にする」「明るいコミュニケーションを作れる場に」を運営方針としている。							
支援方針	自分がしたい遊びを楽しみながらも、友だちや支援者に誘われて少し苦手なことにも挑戦してみようとする気持ちを育み、合理的配慮のもと適切な支援に務める。 家や学校以外の居場所として、安心して過ごせる環境を提供する。							
営業時間	10 時	00 分	から	18 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
サービス提供時間	月曜日～金曜日	14 時	00 分	から	17 時	00 分まで	(学校の下校時間に合わせる)	
	学校休業日	10 時	00 分	から	16 時	00 分まで		
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	持ち物の管理や、使用するものの準備・片付けなど、生活の基本的な動作を自分で行えるよう、身の回りの自立を育てていく。 見通しを持って過ごせるよう、スケジュールボードやタイマーを利用し、予定をわかりやすく知らせ、身につくように支援する。						
	運動・感覚	姿勢保持を習得するために、バランスボールやトランポリンを使った活動を取り入れたり、感覚の過敏さや鈍麻さを踏まえ、机上活動と体を使った活動など保有する感覚を活用できるように支援する。						
	認知・行動	パーティションや自習室を利用し、視覚刺激を抑えた環境を作り、集中して取り組める環境を作る。 様々な教材を利用し、色・形・数・長さ・大きさなどの概念に気付いたり、知ったりできるように支援する。 スケジュールボードやタイマーを利用し、時間を意識して自ら行動できるように支援する。						
	言語 コミュニケーション	友だちや支援員とのやり取りの中で、自分のしたいことや手伝ってほしいことなど、相手への伝え方を言語だけでなく本人に合った様々な方法で伝えられるよう支援し、身につけられるようにする。						
	人間関係 社会性	相手の気持ちを知ったり気付いたりできるよう支援したり、自分の気持ちを表現したり、情動の調整ができたりするよう支援する。 個の活動を楽しみつつ、集団遊びに参加するための手順やルールを知り、社会性の発達を支援する。						
家族支援	家庭での困り事や気になる事など、いつでも相談できる環境を整え、一緒に解決策を考えていく。	移行支援	学校や家での様子、他事業所での様子など、必要に応じて情報交換を行い、必要な支援のあり方を考える。					
地域支援・地域連携	地域の公園や施設を利用したり、近くの作業所の方々と交流したりすることで、様々な場でのルールを知ったり、そこでの過ごし方を知ったり、人とのつながりが持てたりするように支援する。	職員の質の向上	内部研修を行ったり、外部研修に参加したりして、障がいへの理解を深め、支援の方法を学ぶなど支援のスキル向上に務める。					
主な行事等	おやつや昼食などのクッキング、季節に応じた制作活動、夏祭り、夏の水遊び、ポッチャ大会、モルック大会、月に2回の外部講師によるリズムトレーニング 等							